

地力増進作物(緑肥)導入に関する Question & Answer

Q 春播き緑肥作物で作りやすいものは、何でしょうか？
その栽培ポイントを教えてください。

A ◆イタリアンライグラス(マンモスB)
エンバク(ハイオーツ),クローバ類

- A** ◆イタリアンライグラスにしろエンバクにしろ春播性が高く、確実に出穂し、根部を含む収量の高い品種(「マンモスB」,「ハイオーツ」)が最適です。
- ◆栽培のポイントは播種期と播種量です。
- 早春できるだけ早く播いたほうが収量があがります。
 - 播種量(kg/10a)は「マンモスB」で3~5,「ハイオーツ」8~10をバラ播きします。
 - 施肥は土づくり肥料の熔リンを50~60(kg/10a)投入します。
 - スキ込みは出穂期をめぐらし、後作との関連で前後させてもよい。

Q 水田での麦作収量が年々低下してきたが、その良い対策はありませんか？(麦作一地域です。)

A ⑨アカクローバ(ハミドリ)
⑨アルサイククローバ

- A** ♣麦転作3年目から収量減が顕著にあらわれます。小麦へのクローバの中播き栽培が最適です。転作田は土壌の乾湿がバラつくのでアカクローバとアルサイククローバの混播が適し、いずれも根粒菌接種済みのノーキュライド⑨種子を活用します。
- ♣栽培のポイントは播種期と麦収穫後の追肥です。
- 東北南部は4月上旬,北部は4月下旬,小麦の春追肥と同時期です。
 - 麦刈取り数日後に若干の追肥を施す。成分量で

$$\begin{matrix} N & - & P & - & K \\ 3 & 5 & 4 \end{matrix} \text{ (kg/10a) 程度でよい。}$$
 - スキ込みは雑草が多い場合は8月20~25日,雑草が少ない場合は9月1~10日ごろとし、いずれも小麦播種前にもう一度耕うんします。

Q ソルガム緑肥栽培の経済性と緑肥効果を教えてください。
併せて最適品種はどれでしょうか？

A ♥ソルガム(グリーンソルゴー)

- ♥若干古いデータ(昭56)ですが、稲わら換算で33,800円の収益、費用合計が11,662円で差引22,138円のプラスとなっています。
- ♥ソルガムの緑肥効果は、転換畑では有機質の補給が主体となり、品種によっては「グリーンソルゴー」のようにセンチウ抑制効果を有するものもあります。転換畑におけるタバコや野菜栽培の緑肥には「グリーンソルゴー」の栽培が最適です。

Q 裏作緑肥を再スタートしたいのですが、適作物を1,2紹介下さい。
エサ利用できるものも合せてお願いします。

A ♠裏作の女王はレンゲ
♠裏作の王様はイタリアンライグラス(エース)

- ♠裏作の女王はレンゲです。あの薄紅色のジュータンを水田に復活させたいものです。裏作の王様はイタリアンライグラス「エース」です。再生力が旺盛で根部収量も抜群な四倍体高収品種です。もちろんエサ利用もでき、1~3回青刈利用し、その後、再生草をスキ込むのも好適です。
- ♠水稲作につなげる裏作は早期切りあげができ、残根量が少ないことが要請され、イタリアンライグラス「サクラワセ」が最適です。「サクラワセ」は流通品種の中では最も早く出穂し、東北中部以南でも実用化されています。
- ♠エサとしての利用性から見ると「エース」>「サクラワセ」>レンゲの順序となり、「エース」はイタリアンライグラスの最多収品種です。